



# 心のひろば

# 謹賀新年



第490号 二〇二五年一月一日  
発行 岡山市南区浜四七二  
〒703-8520  
林友の会  
電話(〇八六)二七二八八一(代)  
電話(〇八六)二七二二九五七(調)  
発行責任者 石田正也  
紙代一部50円(郵送料15円)

## 信頼される医療活動を



公益財団法人林精神医学研究所  
理事長 林 英樹

新年明けましておめでとうございます。  
林友の会会員の皆様には、当財団の活動にご協力いただき大変感謝申し上げます。まずは昨年元旦に発生した能登半島地震と9月の水

害はまだ復興途上であり、被害にあわれた方々に一刻も早く平穏な日常生活が戻ることを願います。  
心のひろばで紹介されましたが、昨年A型作業所の報酬改定があり、岡山県内だけでも8月までに24カ所が廃止され、511人もの障害者が解雇されました。私の受持ち患者さん何人もが失業し張り合いと収入を失いました。お一人お一人のケアとサポートが必要です。

よかったことは、皆様と一緒に署名を集めた精神障害者の医療費助成が本年4月に要請し、岡山県において精神障害者を含める

## 権利擁護と社会的地位の向上を



林友の会  
会長 石田正也

新年あけましておめでとうございます。昨年、衆議院選挙やアメリカ大統領選挙などがあり、今後の日本や世界がどうなっていくかが問われています。また、昨年は、林友の会や林財団が支援をしていた岡山地裁

での生活保護基準引き下げ違憲訴訟の判決があり、国の生活保護基準切り下げは違法と判断されました。この訴訟については、林病院では院長をはじめ職員スタッフらが意見者などを裁判所に提出して支援してきました。林病院では、過去、過労死労災訴訟などで意見を提出するなどして支援してきましたが、久しぶりの裁判への関与でしたが、勝訴にむけて大きな支援になったと思っています。また、友の会を中心に心身障害者医療費公費負担制度の適用において、精神障害者を対象に含めるよう岡山県

月から始まること、支援してまいりました生活保護基準引き下げ違憲訴訟が岡山地裁で勝訴したこと。日本被団協のノーベル賞平和賞受賞もうれしいニュースです。大谷選手、岡選手、フアジャーノの活躍にも励まされました。  
優性保護法のことや国連から勧告された障害者権利条約のことは引き続き学習を続ける必要があります。  
現在、財団は本年4月から始まる第9次長期計画を検討中です。患者さん、ご家族、会員の皆様の期待にこたえて信頼される医療活動を続けたいと存じます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 家族交流会 あじさいの会

心の病気をもつ方のご家族の集まりです。病気や生活、将来のことなど話をしています。どなたでもお気軽にご参加ください。

日時：1月16日(木) 14時半～16時半  
場所：林友の会事務所  
参加費：100円 (お茶菓子代)

### 当事者交流会 ゆとりの会

病気や人間関係、将来のことなど、当事者同士で交流しています。事前の申込等は必要ありません。お気軽にご参加ください。

日時：1月15日(水) 15時～16時半  
場所：林友の会事務所  
参加費：100円 (お茶菓子代)

### カフェこおり銀座

参加者が「ほっとできる」ことを大切にしたいカフェです。事前にご連絡いただければ詳しい場所をお知らせします。

日時：1月27日(月) 14時～  
場所：岡山市南区郡  
参加費：100円 (コーヒー代)





# 新春座談会

# 想いに寄り添う医療で 頼りにされる病院に

林病院は精神科の救急病院です。今回は、精神科急性期医療をテーマに、4人の職員にお話していただきました。

## 林病院の歴史と現状

武田：あけましておめでと  
うございます。今日は林病  
院の精神科急性期医療につ  
いて話をしたいと思います。  
林：林病院は1986年に



▲座談会参加のみなさん

全日本民医連に加盟しまし  
た。当時の民医連は「いつ  
でも、どこでも、だれで  
も」受診できる医療が共通  
目標で、各県の基幹病院は  
どこも救急医療を担ってい

ました。当院も、1998  
年にアルコール依存症病棟  
が県内初の精神科急性期治  
療病棟として承認されまし  
た。精神科急性期治療病棟  
とは、その病棟に入院され  
る患者さんの4割以上が新  
規の入院の方で、その6割  
以上の方が3ヶ月以内に退  
院していく、早期に治療し  
て地域に帰るといふ病棟で  
す。同年から、精神科救急  
システムにも当番病院とし  
て参加してきました。20

06年に大阪のさわ病  
院の澤温先生に講演をしてい  
たきました。そのなかで澤  
先生は精神科救急医療の重  
要性と「いつでも、どこで  
も、だれでも、人権に配慮  
された医療を受けること」  
を強調されました。「精神科  
救急は命に別条がないとい  
う人がいるが、不安に怯え  
ていたり、本人や家族や周  
辺の人が悩んでいるという  
のは『出血している状態と  
同じ』それを放っておいて  
いいのか」と問いかけられ  
ました。この講演を聞き、  
私たちが精神科救急医療を  
がんばらなければと決意し



▲林医師

ました。ちょうど病棟再編  
成された時期で、「毎日が救  
急当番」のキャッチフレー  
ズで救急医療に取り組みま  
した。2014年に新病棟

ができ60床の精神科急性期  
病棟が完成しましたが、医  
師の異動や退職に伴いとり  
くみが少し消極的になりま  
した。一方で、岡山市内の  
精神科病院が電気刺激療法  
や難治性の方への治療薬ク  
ロザピンの導入など、高規  
格の精神科救急病棟を整備  
していききました。当院も2  
020年4月から精神科救  
急病棟の取得の準備を始め  
ました。患者さんからはい  
つでも診てほしいとの要望  
があります。保健所や警察  
署からの相談も増えていま  
す。また、総合病院に入院  
中の患者さんや高齢者施設  
に入所中の認知症の方の精  
神症状が活発になり対応が  
困難での相談もあります。  
二神：入院の窓口は地域連  
携室です。看護師とソー

シャルワーカーを配置し、  
入院の依頼をタイムリーに  
受けることを意識していま  
す。患者さんの状況や背景  
を聞き取り、医師・病棟に  
伝えて患者さんにとって適  
切な環境に入院の受け入れ  
をしています。  
武田：ここ数年、認知症や  
高齢の方の入院が増加して  
います。以前は、急性期病  
棟での認知症の方の入院の  
割合は10数%程でしたが、  
高齢化と共に地域でのニー  
ズが広がってきました。患  
者さんもご家族も困ってい  
るなかで認知症の方を積極  
的に受け入れ、今では30  
数%程になりました。そし  
て、他の疾患の方と同じよ  
うに3ヶ月以内には施設や  
地域に退院されます。その  
方やご家族がどこでの生活  
を希望されているかをしっ  
かり聞き取り治療を進めて  
いくという役割が果たせて  
いると思います。



▲宮城作業療法士

病棟でのかわり  
宮城：作業療法では、集団  
での活動に加えて個別のか  
かわりが重要になります。  
まずはその方の話を丁寧に  
お聞きし、寄り添える関係  
になれるようにしています。

何かなど、自分自身を振り  
返る機会としています。精  
神科急性期医療の場合はス  
ピード感が大事になるので  
なるべく早い介入を常に心  
がけています。  
二神：ソーシャルワーカー  
も、早い段階で入院前の生  
活環境やご家族との関係な

参加者

林 英樹さん  
(林病院医師)

武田 大介さん  
(林病院看護師)

二神亜紀子さん  
(林病院ソーシャルワーカー)

宮城奈津子さん  
(林病院作業療法士)

明けておめでとう  
おめでとうございます

本年も従業員一同、  
皆様に安心いただける  
薬局をめざしてゆきます。

つばさ薬局

☎086(272)2710

あけましておめでとうございます

認知症高齢者の医療とケアの充実のため  
に全力をあげます。  
デイケア・外来の充実で、地域のニー  
ズに応える病院づくりにとりくみます。

岡山ひだまりの里病院

☎086(267)2011

賀正

新しい年が  
平和で希望に満ちた年  
になりますよう、  
お祈り申し上げます。

林道倫精神科神経科病院

☎086(272)8811



どをお聞きします。ご家族やそれまで患者さんをサポートしてきたネットワークも含めて、公的機関や民生委員、作業所の職員や友人など、これまでの関係が入院中に切れてしまうことなく、退院後にも患者さんを取り巻くつながりが続くよう意識的にかかわります。地域でサポートする支援者と入院中から連携をとり、ご家族を含めて話し合いの場を持ちます。退院後の生活を継続するため、ご本人に参加して語っていただくことを意識しています。

**武田**・看護師の強みは24時間患者さんにかかわっていることで、これは他の職種にはないものです。特に、患者さんが苦しい時を共にすることが多く、入院して症状が強い時にどういうケアをおこなうかがとても大事です。かわりが多いと情報量も多くなるので、それをチームで共有し治療に生かしています。また、元々は身の回りのことが自分でできていても、症状により一時的にできなくなることもあります。認知症の方、高齢の方も多いので、身体援助で患者さんとの距離が近くなり身近で支えることができます。患者さんが自立に向けて進んでいく支援ができた時はとても喜びを感じます。

**林**・かつては手が震えるなどの副作用が多かった統合失調症の薬ですが、新しい薬は副作用も少ないので患者さんが続けて服用して下さるようになりました。また、統合失調症の方で当院で使用している薬で効果が出ない場合は治療抵抗性といわれ、クロザピンという薬の使用で症状が改善することがあります。使い初めに副作用が出る場合がありますので、県精神科医療センターや慈生病院に導入をお願いして、そのあと当院へという病院同士の連携もおこなっています。病棟では、患者さんの担当の医師、看護師、ソーシャルワーカー、作業療法士、臨床心理士などの少人数のチームで治療計画を立てて、それを病棟全体に広げていきます。チームの各職種からの提案が活発で、いろんなアイデアが出されます。患者さんに寄り添った医療活動ができていると感じています。

**ご家族・支援者と共に**  
**二神**・初めて入院された方のご家族は患者さんが病棟でどう過ごされているのかが見えにくく不安でいっぱいなので、面会に来られた時にできるだけ今の状況を丁寧に伝えるようにしています。また、入院費などの経済的心配がある場合は、対応できる制度を活用できるように支援します。安心して入院できる環境、生活基盤をいち早く整えることが大切です。

**武田**・面会の対応では看護師や介護士が一番多いので、ご家族が少しでも安心できるようにご本人の様子をお伝えすることを心掛けています。それによりご家族も一緒ににかかわりを持てるようになると思います。二神・今までご本人やご家族とだけで過ごしてきた方は、地域の支援者の役割がイメージしにくいです。例えば訪問看護を導入する時には、ご本人の退院後の生活への要望を訪問看護師さんに聞いてもらい、お手伝いできることを一緒に考えます。薬の服用や外来の受診も必要ですが、何を楽しみややりがいに生活していくのか、ご本人の想いを大事にかかわってもらいたいためにつなぎ役をします。まだ地域間格差はありますが社会資源も増えています。岡山市はかなり充実してきているので、困った時にもサポートを受けてより長く在宅で過ごせるようになりました。患者さん自身の選択の幅が広がり、ご家族にも地域の支援者となつていただけるよう発信することも大事な役目だと思っています。

**退院後のかかわり**  
**二神**・患者さんが退院されて通院になると担当が外来のワーカーに、デイケアに來られる方はデイケアのワーカーになります。途切れることなく支援できるようにワーカー同士で引継ぎをおこないます。外来で通院の中断をされた場合には外来ワーカーが林病院以外の支援者とも連携をとり、原因となる部分に介入し適切な治療が継続できるようにかかわります。  
**宮城**・作業療法は外来でもおこなっています。入院中のプログラムを退院後も利用したい方や、病棟での作業療法士と退院後もかわっていたい方などが参加されています。また、退院後にデイケアの利用を希望される方は、入院中にデイケアの見学や体験と一緒におこない、退院後につなげるリハビリをおこなっています。デイケアの作業療法士とは、退院の時やデイケアの患者さんが入院する時などの引き継ぎを意識しています。

**林**・入院中の苦しかった時期を知っている医師が継続して担当することが安心につながると考え、当院では入院中の主治医が外来でも担当する場合があります。また、主治医が変更になる場合には、医師同士で話をしたり、カルテに記録して共有しています。  
**武田**・デイケアや外来でお会いした時に、入院中のかかわりに感謝の言葉をいただくのと、この方に寄り添うことができよかったです。入院される時にはごはんも食べられない、お風呂も入れない、しんどい状況で来られた方が元気になった様子を見られるのは、医療者としてはとても励みになります。



▲二神ソーシャルワーカー



▲武田看護師

**今後の目標**  
**二神**・ソーシャルワーカーとして人権意識を大事にしていきたいです。急性期症状のためどうしても行動の制限が必要な場合があります。このことに嫌な思いを持たれたままとならないよう、治療としての必要性やそれ以外の部分でできると人権が守られる配慮ができていくかの視点を持ち、発信することが大事だと思っています。急性期治療を終えても、様々な要因で入院が長期化される方がおられます。その場合、他の特徴を持った病棟へ移されることもありますが、病棟間で連携し、継続して退院支援をおこないます。受け皿となる地域医療部には、患者さんやご家族を支援する事業所、および職種が揃っています。それらをしっかりと活用していただき、皆さんに選んでいただける病院になりたいと思います。

**武田**・民医連看護には「患者さんの立場に立ち、患者さんの要求から出発する、患者さんと共にたたかう」という3つの視点がありません。患者さんに24時間かわる強みを最大限生かして、この視点を追求できる看護集団で急性期医療を担っていきたいと思います。患者さんやご家族がしんどい時にその立場に立って寄り添い、症状や苦悩、社会の制度とたたかう、そういうサポートができる看護師・看護集団を育てていくことも目標です。

仲間たちとの  
出会いが宝物です。  
**ソワニエ看護専門学校**

謹賀新年

林友の会市民公開講座  
**映画「ありがとう3」と出演者のトーク**

映画上映と映画出演者のトークを予定しています。詳細は次号でお知らせします。

日時：2月25日(火) 14時~16時  
場所：林病院ひまわりホール  
参加費：無料 (定員40名)

お知らせ  
岡山けんせいれん学習交流会  
「看護のイロハ」  
日時 1月26日(日)  
13時~14時半  
場所 きらめきプラザ 705号室  
講師 高木俊輔さん  
(林病院精神科認定看護師)  
参加費 無料(定員40名)  
申込 bowsell-ctf@yahoo.co.jp  
主催 岡山県精神障がい者 団体連合会  
TEL 090-6402-8067



声



●我が子が成人式をむかえます。貸衣装振り袖ですが一年前から予約しました。びっくりする価格でしばらくもやし生活になりそうです。(ましゅまろ)

●空き家になった実家に今年もたくさんのおゆずの実がなりました。空き家の管理は手がかかりませんが、鈴なりの黄色のゆずは嬉しいです。自然の恵みです。(光本令子)

●写真付きの月下美人すごくステキです。(月野うさぎ)

●「心身統一法」って御存知ですか。これは明治生まれで肺結核を自ら克服した中村天風という人です。あの天風も天風の影響を受けた一人です。理論は「人間考え方ひとつだ。その考え方が一番いい」と思っています。それが自分の信念となってくる。そう考えると心の中に安心が自然と生まれ、不安が消える」と。私は、天風の著書から多くの事を学んだ。(中山芳樹)

●今国会で企業献金を止めるという話ですが、5万円以下なら何口でも良いのでしょうか？毎日会計責任者は家計簿をつけていないのでしょうか？10年先に公表するのはおかしいです。(西本良広)

●国会では、百万の壁とか税をいかにしてうまく活かす方法を議論しているようですが、先ほど始まった薬の選定療養やマイナ保険など、ほんとに皆さんが理解できる話をしていない。とにかく、国民をマイナ保険で管理して少しでも税の取りこぼしがなく、税をたくさん取ろうとしていることだけはわかります。国民のほとんどが苦しんでいます。非課税対象の高齢者を投票させようとする給付金はやめて、みんな平等に幸せに生きられる安心した社会を確立してほしい。今のままだと、数年後にはとんでもないことになりそうです。頼みますから、良い日本を作ってください。友の会をはじめ、多くの人の力が必要です。頑張ります！(ひろニヤン)

●知人がひだまりの里を受診するために付き添いをしてきました。初めての受診で本人以上にドキドキしましたが、先生をはじめとして相談員さん、看護師の方すべてのスタッフがとてもやさしく接してくださり分かりやすく説明して下さいました。また玄関横にあるデイを利用されている利用者の方も表情良く過ごされているのを見てとてもうれしかったです。これからもよろしくお祈りします。(めいこ)

●心のひろばを読む楽しみ、岡山にはいく機会がないので。(山本一美)

●生活保護基準引き下げは違憲という機関紙「心のひろば」の見出しに拍手です。朝日訴訟「人間裁判」で勝ち取った人が生きていくための最低限の基準です。憲法がないがしろにされている自公政治にNOの判決です。(山崎昂弘)

●いのちのとりで裁判勝訴判決に拍手！岡山地裁で10年にわたり開かれてきた生保基準引き下げ違憲訴訟判決で原告勝訴！本当によかった！まだ高裁での闘いですが、「あきらめない」を合言葉にがんばりましょう！闘わずして要求実現はありませんね。(崎本敏子)

●「生活保護基準引き下げ違憲」の岡山地裁判決は、当然とはいえ嬉しい限りです。が、一時も早く政治の力で「受給者が健康で文化的な生活が出来るように」改善するべきです！(加藤紀臣)

写真：兵庫県大谷山伽耶院 (井原誠司さん撮影)



クロスワードを解き、二重枠に入った文字を並べてできる言葉をハガキかメールでお送りください。住所、氏名、紙面や友の会活動に対するご意見・感想をお書きください。お名前の掲載ができない方はペンネームか匿名希望とご記入ください。抽選で5名の方に図書カードを差し上げます。応募締切：1月15日

宛先：〒703-8520 岡山市中区浜472 林友の会「心のひろば」編集部 hamawww@po.harenet.ne.jp

第489号の答

カン セイ ト ウ

パズル当選おめでとう

- ▼中山 芳樹 ▼Y・O
▼山本 一美 ▼中山 里奈
▼モモちゃん (敬称略)

タテのカギ

- ①親のここをかじる子も
②満員御礼になると配られる、○○○袋
③宅配でもおなじみの、平たいタリア料理
④芸術家などを援助する人
⑥野次馬がワイワイ、黒山の○○○○
⑦店の前に置く山型ソルト
⑧ボクシングに欠かせない「○○○○ガール」
⑩旧ソ連の「ソ」
⑪急げ！ ○○○○を争う事態だぞ！
⑮↔南
⑯広島産が有名な貝で、生もフライも美味

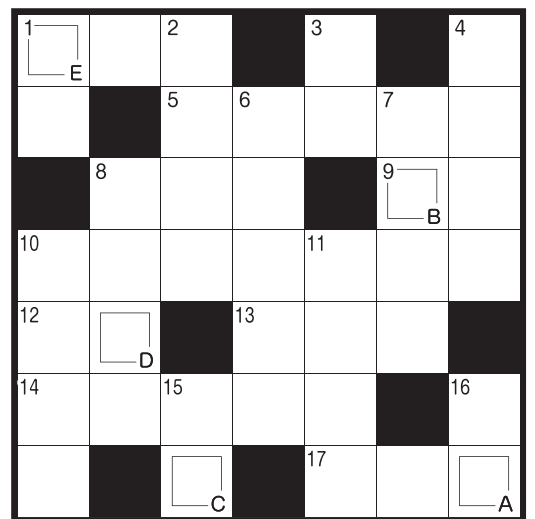
ヨコのカギ

- ①化粧していない本来のままのフェイス
⑤江戸の町は「將軍様の○○○○○」と呼ばれた
⑧辺りを照らす器具
⑨話の道筋がキッチンとしている。「○○整然」
⑩日本の初代は伊藤博文
⑫醤油の入った一升○○
⑬乾燥させた「節」は堅い
⑭東京の伝統的なカットガラス細工
⑰タイヤに入れる

※二重枠に入った文字を並べてできる言葉は何でしょうか？

Table with 5 rows (A-E) and 1 column.

クロスワードパズル



林病院 けやき外来診療表 (2025.1.1~)

Table with columns for days (月, 火, 水, 木, 金, 土) and rows for time slots (午前, 午後) and staff names.

※1土曜日の医師体制は、隔週毎になります。 ※2月曜日の廣中医師は、第1・第3・第5週になります。

午前診療時間 9:00~12:30 (受付時間 8:30~12:00)
午後診療時間 14:00~17:00 (受付時間14:00~16:30)

初診の方は、あらかじめ電話でご予約ください。

TEL086-272-8570 (けやき外来直通) TEL086-272-8811 (林病院代表)

林財団ホームページ http://www.hayashi-dorin.or.jp/

入院のご相談は

代表(086)272-8811

へお電話ください。入院担当看護師へおつなぎします。

夜間・休日も対応しております。

もの忘れ外来 (月)午前 9:00~12:30

重度認知症デイケア (月)~(土) 9:30~15:30

デイケア (月)~(土) 9:00~15:00

ナイトケア (月)~(土) 16:00~20:00

認知症専門病院

岡山ひだまりの里病院 外来診療表

Table with columns for days (月, 火, 水, 木, 金) and staff names (本田, 藤田).

9:00~12:30
電話で予約してご来院下さい
☎(086)267-2011
認知症デイケア (月)~(土) 9:30~15:30

電話相談

電話：086-272-2957 (林友の会)

平日8:30~17:00

生活相談・法律相談・家族相談

各相談は、林友の会事務局員が事前にお話を伺い、相談員へお取次ぎします。

相談員

- 氏平みほ子 (県議)
森脇ひさき (県議)
林 潤 (市議)
石田 正也 (弁護士)
則武 透 (弁護士)
家族会役員